

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

- 1 期 日 令和 6 年 9 月 30 日（金）
- 2 会 場 全員協議会室
- 3 開会時刻 午後 2 時 38 分
- 4 閉会時刻 午後 3 時 30 分
- 5 出 席 者

委 員 長	松浦昌巳	副委員長	藤澤恭子
委 員	草賀章吉	委 員	山本行男
〃	二村禮一	〃	窪野愛子
〃	寺田幸弘	〃	勝川志保子
〃	鈴木久裕	〃	富田まゆみ
〃	藤原正光	〃	嶺岡慎悟
〃	大井 正	〃	橋本勝弘
〃	安田 彰	〃	石川紀子
〃	山田浩司	〃	高橋篤仁
〃	鷺山記世		
事務局出席者	議事調査係	平川 陽	
- 6 審査事項

議案第91号	令和 6 年度掛川市一般会計補正予算（第 5 号）について
議案第92号	令和 6 年度東山財産区特別会計補正予算（第 1 号）について
- 7 会議の概要 別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

令和 6 年 9 月 30 日

市議会議長 松本 均 様

予算決算委員会委員長 松浦昌巳

7 会議の概要

協議事項

- (1) 分科会設置について
別添のとおり決定
- (2) 議案送付について
別添のとおり決定

7 会議の概要

令和6年9月30日（月）午後2時38分から、全員協議会室において全委員出席のもと開催。

1) 委員長あいさつ

2) 審査事項

①議案第91号 令和6年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について

〔財政課説明 14:39 ～ 14:42 〕

○松浦昌巳委員長 担当課の説明が終わりました。質疑をお願いします。

〔質疑 14:42 ～ 14:44 〕

○委員（鈴木久裕）

災害復旧に関連する。市債。災害復旧債は、交付税措置があるか。見込みは。

●財政課長（新貝和也）

交付税措置はある。以前は、単独災害については、一般財源で対応していた。国全体として災害が多く、特別交付税の措置が難しいということで、市債で対応するよう指示があり、市債で対応する方針としている。

○委員（鈴木久裕）

どのくらいの割合を見込むか。

●財政課長（新貝和也）

後ほど回答する。

●総務部長（都築良樹）

地方債の交付税措置率。公共分と単独分にわかれる。公共分は、土木農林ともに95%。単独分は、土木農林ともに47.5%。

〔環境政策課説明 14:45 ～ 14:48 〕

○松浦昌巳委員長 担当課の説明が終わりました。質疑をお願いします。

〔質疑 14:48 ～ 14:57 〕

○委員（鈴木久裕）

崩土、法面が崩れたところ、隣接は茶畑。茶畑と最終処分場との落差はどのくらいか。

●環境政策課長（石山基和）

上の写真、2ページ目下段。フェンスの向こう側が茶畑。そことの段差は、しっかりと測っていないが、10メートルか、15メートルくらい。段差はかなりあると考えている。

○委員（鈴木久裕）

このままでは、地元はこのままで返すことに納得していると思うが、これだけ差があると、市が持っている間、これからもずっとこういうことが起こることが予想される。残土処分などで、高さを変えることは考えているか。

●環境政策課長（石山基和）

板沢最終処分場は、平成30年度に埋め立て終了。今現在は、廃止に向けたモニタリング調査を実施している。モニタリング調査は、3つの区分で水質調査を行い、2年間継続して国の基準を満たせば、廃止に向けた手続きが出来るという事になっている。短期間で基準を満たすの

は容易ではないが、このような状況もあり、被害がないような対処方法を検討しながら、現状での法面の管理を続けたい

○委員（藤原正光）

説明資料2。既設水路の想定水量より、かなり水量が多かったため、このようになったということだが、その辺を説明して欲しい。

●環境政策課長（石山基和）

補足資料1 ページ上段全体の図面。今藤原委員がおっしゃったところは、2番の緑色の覆土崩れの部分。上流に黒い線があるが、ここにも水路がある。上から出てきた雨水を水路の手前で沈砂させているが、水量が多く、耐え切れなくなって、みずみちができてしまった。このため、土嚢を設置し、再びみずみちができない対策をしたい。

○委員（藤原正光）

今回と同じ雨量でも、土嚢で同じような状況にはならないということでもいいか。

●環境政策課長（石山基和）

しっかりと調査をして、そのように対応したい、

〔観光・シティプロモーション課説明 14:54 ～ 14:57 〕

○松浦昌巳委員長 担当課の説明が終わりました。質疑をお願いします。

〔質疑 14:57 ～ :05〕

○委員（鈴木久裕）

地元でもトイレ基金をつくっていた話、それはどこに入っているか。

●観光・シティプロモーション課長（熊切紀和）

観光施設整備基金の中に入っている。基金の合計額85万7,000円のうち、地元募金の22万15円が地元のトイレ基金に当たる。

○委員（鈴木久裕）

観光施設整備基金は、市が財源として積んだお金は0円か。

●観光・シティプロモーション課長（熊切紀和）

はい。そのとおりです。

○委員（鈴木久裕） 委員

全体事業費は官公庁の補助金を足した額でいいか。事業主体は、茶文字の里東山か。

●観光・シティプロモーション課長（熊切紀和）

全体事業費は、675万円2,000円。事業主体は、茶文字の里東山です。

○委員（鈴木久裕） 委員

ふるさと応援基金は、市民からふるさと納税してもらっている。東山財産区、地元これだけ出させている。地元も市が少しでも出してくれるならありがたいのかもしれないが、地元との協議経過を教えてください。

●観光・シティプロモーション課長（熊切紀和）

基金、補助金だけではこの事業は実行できない。茶文字の里東山から、東山財産区に話をし

て、資金を出していただいたと聞いている。市には具体的には要望なかった。

○委員（石川紀子）

地区集会で茶文字の件が地元から出ていた。トイレはトイレで、茶文字はこれから取り掛かる。財産区がやっていくと思うが、地区集会では茶文字をやるのに人が少なくて、できない。市も協力して欲しいと要望が出ていたと思う。今回のトイレには、それは入っていないか。

●観光シティプロモーション課参事（高野留美）

今まで、トイレが欲しいという声は昔からずっと聞いていた。なんとかならないかということで、ガバメントクラウドファンディングをやってみようと一緒に始めて始めた。推進月間として、課の者が現場に行き寄付を呼びかけたり、企業版ふるさと納税を、茶文字の里と一緒に企業へ行き呼び掛けなどの協力体制で進めてきた。

●観光・シティプロモーション課長（熊切紀和）

今回の話には茶文字の件は入っていない。

○委員（窪野愛子）

写真。どのようになるか。イメージだと思うがまだ乱雑になっているという印象。トイレは綺麗になってもいくところか。そこはどうなるか。いくつトイレができるか。

●観光・シティプロモーション課長（熊切紀和）

現状は男性用トイレが1つ、女性用トイレが1つと仮設トイレが2つある。今回、女性用トイレを1つ増設し、仮設トイレを多目的トイレにするので、改修後は、男性用トイレが1つ、女性用トイレが2つ、多目的トイレが1つということになる。

○委員（窪野愛子）

改修後の写真は、多目的トイレか。

●観光・シティプロモーション課長（熊切紀和）

はい。仮設トイレは非常に不潔で、使うに使いづらかった。綺麗な多目的トイレが設置されることになる。

〔農林課説明 15:05 ～ 15:06 〕

○松浦昌巳委員長 担当課の説明が終わりました。質疑をお願いします。

〔質疑 15:06 ～ 15:07 〕

委員（大井正）

工事費は2億7,000千万。別に測量設計費用があるか。測量設計がないと工事費はでないか。

●農林課長（松永真也）

測量設計しないと工事費は出ない。2億7,000万円のうち。3,000万円が測量設計費用になっている。

〔土木防災課説明 15:07 ～ 15:10 〕

○松浦昌巳委員長 担当課の説明が終わりました。質疑をお願いします。

〔質疑 15:10 ～ 15:11 〕

○委員（鈴木久裕）

千石線。健全な状態から落ちたのか、予兆があったか。

●土木防災課長（宮崎行博）
今回の大雨で大きく落ちた。

○委員（鈴木久裕）委員

予兆があるところは、早めに手を打ってもらいたい。これからも出てくるかもしれない。費用の工面が難しいかもしれないが、大きくなるより先にやってもらいたい。

〔維持管理課説明 15:12 ～ 15:15 〕

○松浦昌巳委員長 担当課の説明が終わりました。質疑をお願いします。

〔質疑 〕

なし

○松浦昌巳委員長 質疑を終了します。

〔委員間討議 15:15 ～ 15:25 〕

○委員（橋本勝弘）

観光の説明が不正確でした。言わしていただきたい。栗ヶ岳のトイレについて。委員の認識として。トイレの必要性を訴えたい。

説明資料。左半分は女性用。2つ女性用トイレになる。女性用トイレを1つ増やす。今は、市から簡易トイレを1つ借りている。水洗トイレをつくる。合併浄化槽になるため、少しお金がかかる。そこを少し説明して欲しかった。

○委員（大井正）

一般的に災害復旧工事は、現状復旧。河川の路肩が崩れた場合は、多くの場合は、現状復旧の護岸の復旧では、ダメなケースが多い。川底がえぐられた場合、構造物を新しく作って、復旧しても耐えられない。その技術論をしっかりとやって欲しい。必ずしも現状復旧でない査定がつくこともあるらしい。そのスキルアップをして欲しい。一度直せば済むようにしてもらいたい。技術論をしっかりとやってほしい。

○委員（富田まゆみ）

確認したい。現状復旧終わると、また同じように被災してしまうことがとが多いということでしょうか。

○委員（大井正）

そのとおりです。西大谷川。橋梁が流れて今復旧をやっていますが、当初元通りの橋梁を右岸左岸にかけてやろうとしていましたが、下が持たないという事で、パイルを打って、基礎をつくってというグレードアップした復旧が採用されている。折衝した技術屋のスキルだと思う。

○委員（草賀章吉）

復旧だから、そこまではすぐにはわからない。昔は橋も軽い。今は、追加予算をつけないとということで。危険な箇所が出てくる。予防的に早くやった方が結果的に安いという話があるが。それは、たぶん予算がなくてはできない。台風様様ということもある。そういう箇所ばかり。毎年、曽我から原野谷の奥まで、点検をしてここは、やばいところを確認している。そういうところがたくさんある。予防はできない。台風が来るとほれみろとなる。そうすると、交付税措置あって、予算が付く。ただやれやれというのは、財政としては、いかななものか。地域の方々もやばいからやってもらったどうですかという声はたくさん出る。何かあったときには、速やかにやってもらいたい。

○委員（二村禮一）

災害対応で復旧する。それ以上に強靱化できればありがたい。市が予算を付けることはありがたい。市で予算をつけるかは別問題。良いことはわかるが。

○委員（鈴木久裕）

正論と本音。皆さんからわかっている声が出てよかった。

○委員（窪野愛子）

森林果樹公園。前回の予算がついて同じような状況だったと記憶している。森林果樹公園は憩いの場。なくてはならないと承知はしている。頻繁に毎年繰り返されると思う。次々にいつてしまう。早くから危険箇所と見つけることは大変かもしれないが、森林果樹公園の在り方を考える時期ではないかと思う。

○委員（鈴木久裕）委員

粟ヶ岳のトイレ。粟ヶ岳は外から訪れる人が多い。やることは良い。それにしても、地元と寄附。市がもっと出してもよかったのではないかと思う。昔は、市はもっと出してあげたように思う。財産区が出してくれればいいが、市が消極的ではないかと思う。意見です。

○委員（草賀章吉）

そう思わない。地元の皆さんよくやっている。外から観光客が来るので。自主的に考えたんじゃないか。ただ金をくれではなく、事前に相談があって、市と一緒に考えてきた。地元の皆さんの自主性は重んじるべきである。

〔討論〕
なし

〔採決〕

議案第91号 令和6年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について
全会一致で原案は可決

②議案第92号 令和6年度東山財産区特別会計補正予算（第1号）について

〔資産経営課説明 15:25 ～ 15:27〕

○松浦昌巳委員長 担当課の説明が終わりました。質疑をお願いします。

〔質疑 15:27 ～ 15:29〕

○委員（草賀章吉）

何う。財産区からの支出は大変いい。財産区と茶文字の里とどういふ話がったのか。

○資産経営課長（山崎徹）

茶文字の里からこういうことを実行したいと。ただ、財政面が工面できないと。東山財産区の管理会の方に話をされたと聞いている。管理会の方で、今回は地域支援すべきということで結論にいたったと聞いている。

○委員（鈴木久裕）

運営基金残高は。

○資産経営課長（山崎徹）

現在、繰り出し前は、4,239万3,000円。300万円繰り出し後の残高は、3,939万3,000円である。

○松浦昌巳委員長 質疑を終了します。

〔委員間討議 〕

なし

〔討論 〕

なし

〔採決〕

議案第92号 令和6年度東山財産区特別会計補正予算（第1号）について
全会一致で原案は可決

3) その他

4) 閉会 15時30分